

令和6年能登半島地震に係る第4回岐阜県災害支援対策本部員会議
及び第5回県・市町村等連携会議

【日時】 令和6年3月26日(火) 11:00~

【場所】 5階 災害対策本部室

次第

- 1 石川県内の被害概要について
- 2 県の支援概要について
- 3 これまでの活動報告について

- ① 応急対策職員（罹災証明支援） 【教育総務課 村田 主事】
- ② 応急対策職員（避難所支援） 【下呂市危機管理課 田口 主事】
- ③ 教職員（学習指導） 【岐阜市教育委員会学校指導課 細江 副主査】
- ④ 被災家屋公費解体支援 【大垣市生活環境部クリーンセンター 吉田 主幹】
- ⑤ DWA T 【一般社団法人岐阜県社会福祉士会 橋本 災害担当理事】
- ⑥ 災害ボランティア派遣支援 【産業イノベーション推進課 近藤 主任】

- 4 復旧・復興に向けた中部9県1市の今後の対応方針について
- 5 今後の岐阜県の支援方針について
- 6 意見交換
- 7 本部長（知事）指示

1 石川県内の被害概要について

石川県内の被害状況 (R6.3.19 14:00現在)

石川県

死者	241人
負傷者	1,188人
住家被害	74,110棟
避難者	9,087人
安否不明者	5人
断水	約11,460戸
停電	0戸

※赤枠：岐阜県の対口支援先

輪島市

死者	102人
負傷者	516人
住家被害	14,777棟
避難者	1,827人
断水	約3,870戸
停電	0戸

志賀町

死者	2人
負傷者	103人
住家被害	5,290棟
避難者	365人
断水	0戸
停電	0戸

中能登町

死者	0人
負傷者	2人
住家被害	3,494棟
避難者	8人
断水	0戸
停電	0戸

羽咋市

死者	1人
負傷者	7人
住家被害	2,994棟
避難者	19人
断水	0戸
停電	0戸

七尾市

死者	5人
負傷者	3人
住家被害	12,262棟
避難者	462人
断水	約1,500戸
停電	0戸

穴水町

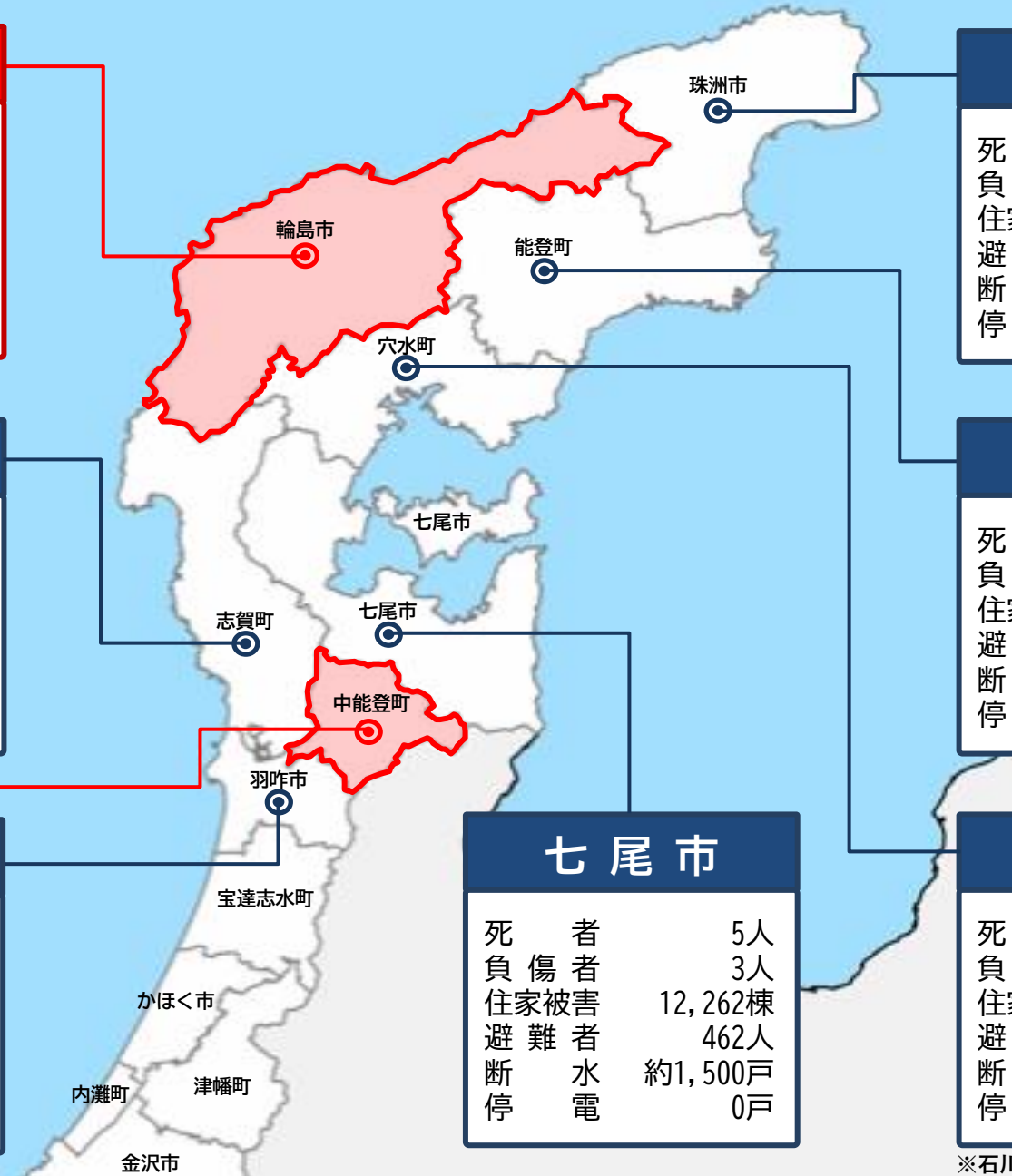
死者	20人
負傷者	257人
住家被害	4,030棟
避難者	309人
断水	0戸
停電	0戸

能登町

死者	8人
負傷者	35人
住家被害	6,238棟
避難者	441人
断水	約1,510戸
停電	0戸

珠洲市

死者	103人
負傷者	249人
住家被害	8,626棟
避難者	1,080人
断水	約4,430戸
停電	0戸



石川県内の避難所の開設状況

(1) 市町1次避難所

(石川県発表 3月19日 14:00現在)

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	0	0	他に広域避難所 7カ所・244人 ※
七尾市	22	462	
小松市	0	0	他に広域避難所 1カ所・8人 ※
輪島市	53	1,827	
珠洲市	42	1,080	
加賀市	0	0	1月9日 17時30分閉鎖 ※
羽咋市	1	19	他に広域避難所 4カ所・30人 ※ (1次避難所に広域避難者1人)
かほく市	1	3	
白山市	0	0	他に広域避難所 3カ所・224人 ※
能美市	0	0	他に広域避難所 1カ所・26人 ※
野々市市	0	0	他に広域避難所 2カ所・78人 ※
川北町	0	0	1日1日 21時10分閉鎖
津幡町	1	2	(1次避難所に広域避難者1人)
内灘町	2	47	
志賀町	13	365	
宝達志水町	0	0	2月6日 14時40分閉鎖
中能登町	1	8	
穴水町	17	309	
能登町	29	441	
計	182	4,563	他に広域避難所 18カ所・610人 ※ (1次避難所に広域避難者2人) ※旅館・ホテル等を除く

(2) 県避難所

施設名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
1. 5次避難所 (スポセン、産業展示館)	1	105	累計 1,487人
2次避難所 (旅館・ホテル等)	232	3,800	累計 9,609人

(参考)「応急対策職員派遣制度」による総括支援団体、対口支援団体の決定状況 (R6.2.22 14:00時点)

輪島市(18)

三重県 東京都
 川崎市 大阪府
 大阪市 堺市
 徳島県 北海道
 長野県 静岡市
 岐阜県 愛媛県
 (1/13~)
 広島県 山口県
 高知県 熊本県
 北九州市 福岡市

※赤文字：総括支援団体
 ※()：支援団体総数

志賀町(6)

愛知県 神奈川県
 横浜市 鳥取県
 岡山市 佐賀県

羽咋市(1)

長野県

かほく市(1)

群馬県

内灘町(2)

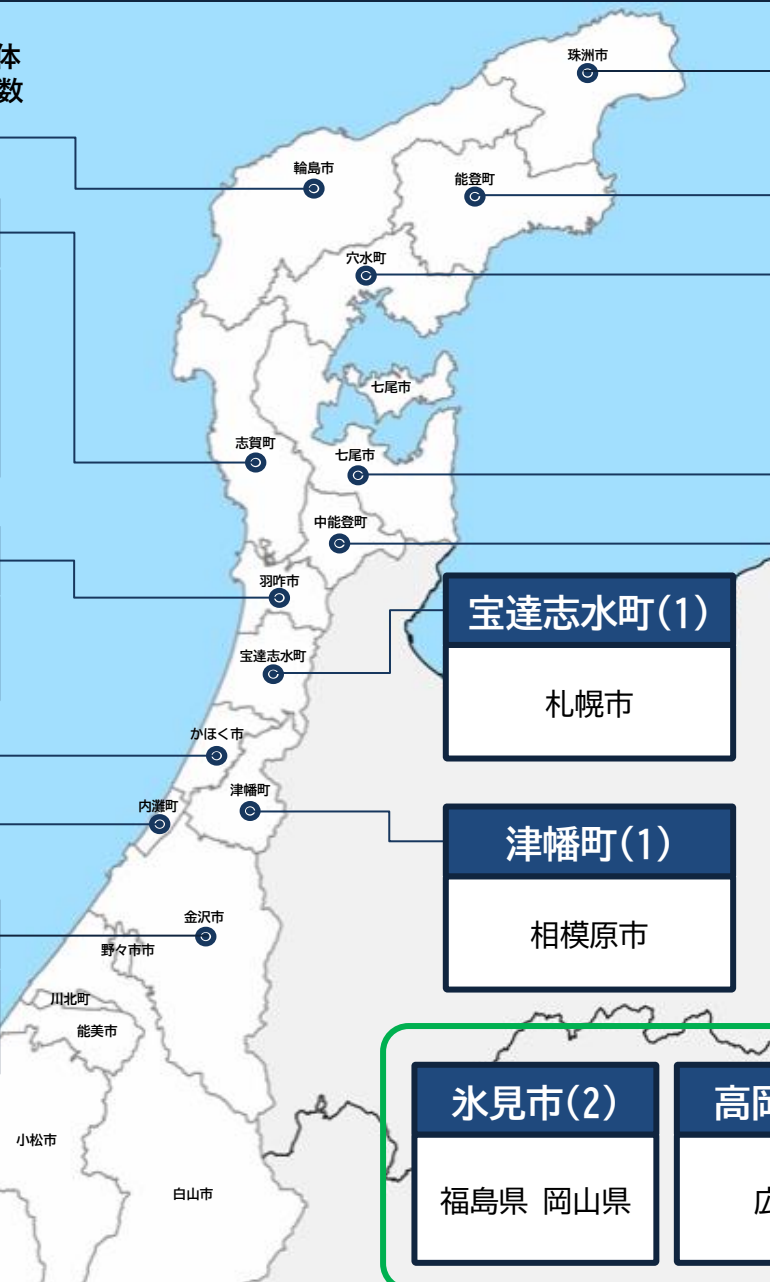
仙台市 香川県

加賀市(1)

静岡市

金沢市(2)

仙台市 島根県



七尾市(5)

名古屋市
 さいたま市
 京都府 京都市
 埼玉県

中能登町(1)

岐阜県
 (1/4~)

宝達志水町(1)

札幌市

津幡町(1)

相模原市

氷見市(2)

福島県 岡山県

高岡市(1)

広島市

射水市(1)

青森県

珠洲市(10)

浜松市 福井県
 千葉県 千葉市
 兵庫県 神戸市
 山梨県 熊本市
 長崎県 大分県

能登町(5)

滋賀県 和歌山県
 茨城県 宮城県
 岩手県

穴水町(4)

静岡県 奈良県
 栃木県 福岡県

新潟県

新潟市(2)

山形県 秋田県

(参考) 中能登町の現状

(3月25日現在)

<基本情報> 人口：16,824人 世帯：6,632世帯 面積：89.5km²

<人的被害> 重傷1人、軽傷1人

<住家被害> 全壊49戸、半壊774戸、一部破損2,671戸 (※3/19 14:00現在)

<避難所> 1箇所・3人

<ライフライン> 電気、ガス、電話、上下水道・・・使用可能

<廃棄物関係>

- ・一般ごみ・・・1月15日(月)から収集開始
- ・災害廃棄物・・・1月20日(土)から仮置き場での受入開始

<罹災証明関係>

- ・1月8日：罹災証明書交付申請 受付開始
- ・1月9日：家屋被害認定 調査開始

<災害ボランティア関係>

- ・1月15日：災害ボランティアセンター開設
- ・1月30日：ボランティア受入開始

(参考) 輪島市の現状

(3月25日 現在)

- <基本情報> 人口：23,118人 世帯：11,357世帯 面積：426.32km²
- <人的被害> 死者102人※、重傷213人、軽傷303人（※災害関連死3人を含む）
- <住家被害> 全壊3,809戸、半壊6,080戸、一部破損4,896戸
- <孤立集落> なし
- <避難所> 53箇所・1,760人
- <ライフライン>
 - 電気 …… 復旧済み※漏電の恐れがある家屋等については、北陸電力送配電により保安上の必要な措置が講じられている。
 - ガス …… 供給停止なし（プロパン）
 - 電話 …… 固定電話：約180回線不通
携帯電話（2キャリア）：一部エリアで支障あり
 - 上水道 …… 3,550戸で断水
 - 下水道 …… ほぼ全域で使用不可

(参考) 輪島市の現状

<廃棄物関係>

- ・ 一般ごみ…… 【可燃ごみ】 1月15日(月)から回収開始
【資源ごみ】
 - ・ ペットボトル・空き缶を1月24日(水)収集開始
 - ・ プラスチックごみを2月12日(月)から収集開始
 - ・ 上記以外の資源ごみを2月26日(月)から収集開始
- ・ 災害廃棄物……2月1日(木)から一部地区で市委託業者が回収開始

<罹災証明関係>

- ・ 1月19日:罹災証明書交付申請 受付開始
- ・ 1月25日:家屋被害認定 1次調査開始
- ・ 3月15日:家屋被害認定 2次調査開始

<応急仮設住宅関係>

- ・ 建設型:1,973戸着工済み。うち204戸完成。

<災害ボランティア関係>

- ・ 1月25日:災害ボランティアセンター開設
- ・ 2月10日:ボランティア受入開始

2 県の支援概要について

令和6年能登半島地震 県の支援状況

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

【人的支援】	主な活動内容	主な活動地	活動中の人数	活動期間	活動済累計	
応急対策職員	対策本部・避難所等支援	石川県中能登町 (対口支援)	1人【第13班】	3/25~4/1	1/5~ 22人	
	罹災証明支援		家屋調査	2人【第25班 県2人】	3/25~3/31	1/7~ 152人
			申請受付等	5人【第12班 県3人 1市2人】	3/21~3/28	1/11~ 76人
	災害廃棄物処理支援		—	—	1/10~ 6人	
	保健師等(避難者健康管理)		—	—	1/10~ 9人	
下水管渠被害調査職員	下水管の調査	—	—	1/9~ 38人		
給水支援職員	給水車の運用	—	—	1/6~ 10人		
	被害情報の収集	石川県輪島市 (対口支援)	2人【第13次 県2人】	3/22~3/28	1/13~ 24人	
応急対策職員	避難所運営支援		29人【第12班 県7人 10市町22人】	3/22~3/28	1/16~ 331人	
給水支援職員	給水車の運用		—	—	1/13~ 8人	
下水管渠被害調査職員	下水管の調査	石川県羽咋市	—	—	1/22~ 6人	
被災建築物応急危険度判定士	被災建築物の調査	石川県能登町、穴水町 等	—	—	1/4~ 42人	
被災宅地危険度判定士	被災宅地の調査	石川県宝達志水町	—	—	2/14~ 6人	
教職員	生活指導・学習指導	石川県金沢市	—	—	1/30~ 8人	
災害ボランティア派遣支援	災害ボランティアの派遣支援	石川県庁	1人【第7次 県1人】	3/22~3/29	2/5~ 6人	
被災家屋公費解体支援	被災家屋の公費解体に係る業務	石川県志賀町、珠洲市 等	3人【第10班 2市町3人】	3/23~3/30	2/19~ 42人	
保健師等	避難者健康管理	石川県金沢市	—	—	1/15~ 59人	
看護師	看護支援	石川県内	—	—	2/2~ 3人	
DMAT(災害派遣医療チーム)	医療支援	石川県内	—	—	1/2~ 27機-4126人	
DPAT(災害派遣精神医療チーム)	医療支援	石川県内	—	—	1/8~ 2機-48人	
DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)	医療支援	石川県珠洲市	—	—	1/10~ 30人	
DWAT(災害派遣福祉チーム)	高齢者介護生活支援	石川県金沢市、小松市	—	—	2/16~ 11人	
ドクターヘリ	搬送支援	石川県内	—	—	1/9~ 12人	
緊急消防援助隊	捜索救助・避難誘導・転院搬送	石川県輪島市、能登町 等	—	—	1/1~ 189隊659人	
防災航空隊	救出活動・物資搬送	石川県珠洲市、輪島市	—	—	1/5~ 26人	
警察	広域緊急援助隊(警備・交通・刑事)	石川県内	—	—	1/1~ 87人	
	広域警察航空隊	石川県内	—	—	1/10~ 3人	
	緊急災害警備隊	石川県珠洲市、輪島市	—	—	1/7~ 109人	
	特別生活安全部隊、特別自動車警ら部隊、特別機動捜査部隊	石川県内	約10人	3/20~	1/4~ 103人	
	防犯カメラ設置チーム	石川県珠洲市、七尾市 等	—	—	1/19~ 4人	

令和6年能登半島地震 県の支援状況

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

【物的支援】	内容・数量	支援先
	食料 3,830食 / 飲料水 3,492L	石川県七尾市 (1/3 輸送完了)
	土のう袋 3,000枚 / 三角コーン重し 100個 / ブルーシート 585枚	石川県志賀町 等 (1/4 輸送完了)
	大人用おむつ 13,000枚 / ブルーシート 4,000枚	石川県七尾市 (1/5 輸送完了)
	ブルーシート 500枚 / 土のう袋 5,710枚 / LEDバルーン照明 10基 / LED投光機 5基 / 敷鉄板 100枚	石川県中能登町 (1/8 輸送完了)
	段ボールベッド100個	石川県金沢市 (2/5 輸送完了)
【その他の支援】	内容	
除雪機械オペレーター派遣	石川県中能登町へ3人派遣(岐阜県建設業協会 1/11～) →1/15活動終了	
給水支援(給水車派遣)	石川県中能登町(岐阜市、高山市 各2t車1台 1/6～ 県営水道 1t2台 1/7～) →1/8活動終了	
	石川県輪島市 (各務原市 2t車1台 県営水道 1t2台 1/12～) →1/15活動終了	
	石川県羽咋市、七尾市への給水支援の実施(日本水道協会中部地方支部 1/2～)	
義援金	県庁舎1階正面受付等38箇所(1/15～44箇所、2/1～42箇所、2/17～43箇所)に募金箱を順次設置(1/4～)	
県営住宅の募集	7住宅[3市2町 38戸](1/5～) ※受入実績(1世帯1名)	
就学機会の確保	小中学校・高校等において被災児童・生徒の受入れ開始(1/9～) ※小学校4校で児童4人を受入れ	
要介護高齢者の広域搬送、受入れ	石川県の要介護高齢者の広域搬送、受入れを開始(1/19～) ※13人を県内に搬送、受入れ	
電話無料法律相談	能登半島地震で被害を受けた方とそのご家族に対し、無料法律相談の受付を開始(岐阜県弁護士会 2/19～)	
県税の申告・納付等の期限延長	石川県、富山県に住所又は事務所等を有する方の県税の申告・納付等の期限を延長	
バキューム車派遣	石川県珠洲市、七尾市へバキューム車5台・先導車2台(1/15～1台)を派遣(岐阜県環境整備事業協同組合 1/10～) →1/19活動終了	
パッカー車派遣	石川県輪島市へパッカー車2台を派遣(岐阜県清掃事業協同組合 1/22～) → 2/17活動終了	
医療支援等	石川県内へ医師、看護師、災害対策本部支援員等を派遣[計101人](日本赤十字社岐阜県支部 1/2～)	
	日本医師会災害医療チームJMATを派遣[計31人](岐阜県医師会 1/19～)	
	珠洲市へ日本災害歯科医師支援チームJDATを派遣[計12人](岐阜県歯科医師会 1/21～)	
	輪島市へ全日本病院災害時医療支援活動班AMATを派遣[計3人](岐阜県病院協会 1/6～)	
	石川県穴水町、金沢市へ災害支援チームを派遣[計41人](岐阜県看護協会 1/6～)	
	災害リハビリテーション支援チームJRATを派遣[計16名](岐阜県リハビリテーション協議会 1/29～)	
応援職員の派遣	石川県内へ日本栄養士会災害支援チームJDA-DATを派遣[計5人](岐阜県栄養士会1/20～)	
	石川県内の珠洲市社会福祉協議会、七尾市社会福祉協議会へ応援職員を派遣[計58人](岐阜県社会福祉協議会 1/18～)	
	輪島市、珠洲市、金沢市、能登町へ応援職員を派遣[計34名](岐阜県老人福祉施設協議会 1/22～)	
	金沢市へ応援職員を派遣[計10名](岐阜県老人保健施設協議会 1/22～)	
	穴水町へ応援職員を派遣[計6名](岐阜県知的障害者支援協会 3/4～)	

応援職員の派遣	穴水町へ応援職員を派遣 [計2人] (岐阜県身体障害者福祉施設協議会 2/13～)
	金沢市、穴水町へ応援職員を派遣 [計4人] (岐阜県相談支援事業者連絡協議会 2/13～)
	富山県、石川県へ応援職員を派遣 [計1人] (視覚障がい者支援団体[社会福祉法人アソシア] 1/9～)
	応援職員を派遣 [計8人] (岐阜県土地改良事業団連合会 1/29～)
管路等の応急復旧支援	石川県七尾市への管路等の応急復旧支援の実施 (日本水道協会中部地方支部 1/2～)
運転手・オペレーター等の派遣	石川県内へ運転手、オペレーター、メンテナンス要員を派遣 [計9人] (岐阜県建設業協会 1/12～)
夜間警備支援	石川県七尾市へ警備員を派遣 [計4人] (岐阜県警備業協会 1/9～)
ボランティアバスの運行	ボランティアを募集し、七尾市にボランティアバスを運行[計1台](岐阜県社会福祉協議会 3/23)

令和6年能登半島地震 市町村の支援状況

網掛けは県と連携実施

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

市町村	支援種別	支援先	支援内容	市町村	支援種別	支援先	支援内容			
岐阜市	人的 135人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 / (申請受付等) 2人 災害廃棄物処理支援 2人 下水管渠被害調査職員 2人 給水支援職員 3人	高山市	人的 27人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 2人 下水管渠被害調査職員 1人 給水支援職員 3人			
		輪島市	避難所支援 12人			輪島市	避難所支援 7人			
		七尾市等	応急危険度判定士 4人			能登町	応急危険度判定士 2人			
		白山市	教職員 1人			輪島市等	被災家屋公費解体支援 2人			
		志賀町	被災家屋公費解体支援 3人			金沢市	保健師 1人			
		金沢市	保健師 6人			七尾市	給水支援職員 5人			
		羽咋市等	給水支援職員 60人			物的	輪島市等	アルミシート 360枚		
		珠洲市	医薬品提供車両派遣 1人 / 薬剤師 7人		その他 3種類	—	給水車 2t車1台			
		石川県内	看護師 2人			—	給水車 2t車2台 / 住宅支援 44戸 / 募金箱設置 10施設			
					金沢市	賃貸型応急住宅申請受付等事務 8人	多治見市	人的 24人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 1人 下水管渠被害調査職員 1人
					七尾市	管路等応急復旧支援 4人 ※この他業者5社9人			輪島市	避難所支援 9人
					七尾市	管路等漏水調査支援 12人			七尾市	応急危険度判定士 2人
	物的	七尾市	大人用おむつ 13,000枚		輪島市等	被災家屋公費解体支援 4人				
		七尾市	飲料水 3,840L / 食料 33,700食 / アルシート 980枚		七尾市	日本栄養士会災害支援チーム 1人				
	その他 5種類	—	給水車 2t車1台		七尾市	管路等応急復旧支援 2人 ※この他業者4社4人				
—		給水車 2t車24台 住宅支援 20戸 ※3世帯7人受入れ 募金箱設置 34施設 / 医薬品提供車両 1台 税の申告・納付期限延長		その他 2種類	—	住宅支援 4戸 / 募金箱設置 7施設				
大垣市	人的 55人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 下水管渠被害調査職員 1人	関市	人的 43人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 下水管渠被害調査職員 1人			
		輪島市	避難所支援 9人			輪島市	避難所支援 11人			
		七尾市等	応急危険度判定士 4人			羽咋市	下水管渠被害調査職員 2人			
		羽咋市	下水管渠被害調査職員 2人			能登町	応急危険度判定士 2人			
		輪島市等	被災家屋公費解体支援 3人			宝達志水町	被災宅地危険度判定士 2人			
		羽咋市等	給水支援職員 21人 / 薬剤師 9人			志賀町	被害家屋公費解体支援 2人			
	物的	高岡市	飲料水 2,970L / 食料 3,000食 / 毛布 1,000枚		金沢市	保健師 1人				
		その他 3種類	—	給水車 2t車7台 / 住宅支援 16戸 / 募金箱設置 25施設	七尾市等	給水支援職員 18人				
				物的	氷見市	飲料水 3,624L / 毛布 20枚				
				その他 4種類	—	給水車 2t車7台 / 住宅支援 7戸 / 募金箱設置 9施設 ふるさと納税の代理寄付受付(氷見市)				

令和6年能登半島地震 市町村の支援状況

網掛けは県と連携実施

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

市町村	支援種別	支援先	支援内容	市町村	支援種別	支援先	支援内容
中津川市	人的 30人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 下水管渠被害調査職員 1人	恵那市	人的 34人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 1人 下水管渠被害調査職員 1人
		輪島市	避難所支援 10人			輪島市	避難所支援 9人
		金沢市	保健師 1人			金沢市	保健師 1人
		七尾市	給水支援職員 12人			七尾市等	給水支援職員 18人
	物 的	高岡市	土のう袋 1,200枚 / プルシート 100枚 ※この他物資支援あり			その他 3種類	—
その他 4種類	—	給水車 2t車4台 / 住宅支援 30戸 ※1世帯2人受入れ 募金箱設置 19施設 ふるさと納税の代理寄付受付(高岡市)	美濃加茂市	人的 26人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 1人 下水管渠被害調査職員 1人	
美的	高岡市	食料 2,290食 / 毛布・アルミブランケット 648枚			輪島市	避難所支援 6人	
	七尾市等	給水支援職員 14人			七尾市等	給水支援職員 14人	
美濃市	人的 14人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人 下水管渠被害調査職員 1人	土岐市	人的 30人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 下水管渠被害調査職員 1人
		輪島市	避難所支援 9人			輪島市	避難所支援 9人
	物 的	高岡市	食料 2,290食 / 毛布・アルミブランケット 648枚			能登町	応急危険度判定士 2人
その他 3種類	—	住宅支援 21戸 / 募金箱設置 11施設 ふるさと納税の代理寄付受付(高岡市)	金沢市	保健師 1人			
瑞浪市	人的 21人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 下水管渠被害調査職員 1人	能登市	被災家屋公費解体支援 4人		
		輪島市	避難所支援 9人	七尾市	給水支援職員 9人		
		能登町	被害家屋公費解体支援 3人	その他 3種類	—	給水車 1.8t車3台 住宅支援 6戸 / 募金箱設置 12施設	
		七尾市	管路等応急復旧支援 2人 ※この他業者3社5人		住宅支援 5戸 / 募金箱設置 9施設		
	その他 2種類	—	住宅支援 5戸 / 募金箱設置 9施設	各務原市	人的 46人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人
羽島市	人的 38人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 下水管渠被害調査職員 1人			輪島市	避難所支援 9人 給水支援職員 3人
		輪島市	避難所支援 8人			七尾市	応急危険度判定士 2人
		能都町	被災家屋公費解体支援 1人			羽咋市	下水管渠被害調査職員 2人
		七尾市等	給水支援職員 18人 / 看護師等 5人			穴水町等	被災家屋公費解体支援 3人
		珠洲市	薬剤師 1人			羽咋市等	給水支援職員 21人
		物 的	金沢市			段ボールベッド 40個	物 的
その他 3種類	輪島市	食料 20,000食	その他 3種類			—	給水車 2t車1台 給水車 2t車6台 / 住宅支援 5戸 / 募金箱設置 14施設
その他 3種類	—	給水車 1.8t車6台 / 募金箱設置 16施設 民間住宅 10戸 ※市が窓口となって実施					

令和6年能登半島地震 市町村の支援状況

網掛けは県と連携実施

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

市町村	支援種別	支援先	支援内容	市町村	支援種別	支援先	支援内容
可児市	人的 40人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 下水管渠被害調査職員 1人	郡上市	人的 36人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 7人 下水管渠被害調査職員 1人
		輪島市	避難所支援 10人			輪島市	避難所支援 10人
		能登町	応急危険度判定士 2人			七尾市等	給水支援職員 18人
		宝達志水町	被災宅地危険度判定士 2人		物的	七尾市	飲料水 1,140L / 食料 1,000食
		金沢市	保健師 1人			その他 3種類	—
	七尾市等	給水支援職員 18人	その他 3種類	—	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 下水管渠被害調査職員 1人	
—	給水車 2t車4台 / 住宅支援 3戸 / 募金箱設置 28施設	輪島市		避難所支援 7人			
山県市	人的 12人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 3人 下水管渠被害調査職員 1人	下呂市	人的 18人	金沢市	保健師 1人
		輪島市	避難所支援 7人			能登町	被害家屋公費解体支援 1人
		金沢市	保健師 1人			宝達志水町	住家被害認定調査員 1人 / 応急危険度判定士 3人
	その他 2種類	—	住宅支援 1戸 / 募金箱設置 1施設		物的	宝達志水町	飲料水 3,474L ※このほか日用品の物資支援あり
瑞穂市	人的 15人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 5人 下水管渠被害調査職員 1人	その他 3種類	—	住宅支援 公営住宅40戸、民間宿泊施設13施設 ※2世帯3人受入れ / 募金箱設置 9施設 ふるさと納税の代理寄付受付(宝達志水町) 温泉60tの提供(珠洲市内公衆浴場)	
		輪島市	避難所支援 7人				
	志賀町等	被害家屋公費解体支援 2人					
その他 2種類	—	住宅支援 7戸 / 募金箱設置 2施設	海津市	人的 15人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 2人 下水管渠被害調査職員 2人	
—	住宅支援 11戸 / 募金箱設置 5施設	輪島市			避難所支援 7人		
飛騨市	人的 20人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 6人 下水管渠被害調査職員 1人	岐南町	人的 7人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 3人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 7人			輪島市	避難所支援 2人
		能登町	応急危険度判定士 2人	その他 1種類	—	募金箱設置 19施設	
		能登町	被害家屋公費解体支援 2人				
	金沢市	保健師 1人、管理栄養士1人	笠松町	人的 10人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人	
物的	小松市	食料 14,750食			輪島市	避難所支援 6人	
その他 2種類	—	住宅支援 市内住宅2戸、民間宿泊施設20室 ※1世帯3人受入れ / 募金箱設置 8施設	その他 1種類	—	募金箱設置 6施設		
本巣市	人的 16人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 5人 下水管渠被害調査職員 1人	養老町	人的 14人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人
		輪島市	避難所支援 7人			輪島市	避難所支援 6人
		金沢市	保健師 2人			能登町	応急危険度判定士 2人
		能登町	被害家屋公費解体支援 1人			志賀町	被害家屋公費解体支援 4人
	その他 2種類	—	住宅支援 1戸 / 募金箱設置 4施設		物的	金沢市	飲料水 4,368L / 毛布 215枚
その他 2種類	—	住宅支援 5戸 / 募金箱設置 11施設	その他 2種類	—	住宅支援 5戸 / 募金箱設置 11施設		

令和6年能登半島地震 市町村の支援状況

網掛けは県と連携実施

R6.3.26(火) 8:30時点
危機管理部

市町村	支援種別	支援先	支援内容	市町村	支援種別	支援先	支援内容
垂井町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 1人	池田町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
		輪島市	被害家屋公費解体支援 2人			金沢市	保健師 1人
	その他 2種類	—	住宅支援 3戸 / 募金箱設置 4施設		その他 2種類	—	住宅支援 7戸 / 募金箱設置 6施設
関ヶ原町	人的 14人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 1人	北方町	人的 12人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
		金沢市	保健師 1人			志賀町	被害家屋公費解体支援 2人
		志賀町	被害家屋公費解体支援 2人				その他 1種類
	その他 1種類	—	募金箱設置 3施設				
神戸町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(申請受付等) 3人	坂祝町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
		能都町	被災家屋公費解体支援 1人			金沢市	保健師 1人
		金沢市	保健師 1人				その他 2種類
	その他 2種類	—	住宅支援 1戸 / 募金箱設置 3施設				
輪之内町	人的 8人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人	富加町	人的 9人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 1人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
	その他 1種類	—	募金箱設置 2施設		その他 2種類	—	住宅支援 6戸 ※1世帯2人受入れ / 募金箱設置 4施設
安八町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人	川辺町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 4人 / (申請受付等) 1人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
		金沢市	保健師 1人				物的
		穴水町	被害家屋公費解体支援 2人		その他 2種類	—	住宅支援 6戸 / 募金箱設置 1施設
		物的	志賀町	食料 4,860食 / 飲料水等 3,576L 等			
	その他 1種類	—	募金箱設置 7施設				
揖斐川町	人的 10人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人	七宗町	人的 10人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 6人			輪島市	避難所支援 6人
	その他 2種類	—	住宅支援 14戸 / 募金箱設置 13施設		物的	志賀町	ブルーシート 320枚 / 土のう袋 500枚 / 食料 1,200食
大野町	人的 11人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人	八百津町	人的 9人	輪島市	避難所支援 1人
		輪島市	避難所支援 6人			穴水町	罹災証明支援 8人
		輪島市	被害家屋公費解体支援 1人				ブルシート 158枚 / 土のう袋 9,800枚 飲料水等 2,895L / 食料 13,404食 ※このほか日用品等の物資支援あり
		その他 2種類	—	住宅支援 9戸 ※1世帯1人受入れ / 募金箱設置 20施設		その他 3種類	—

市町村	支援種別	支援先	支援内容
白川町	人的 10人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 1人
		輪島市	避難所支援 6人
		金沢市	保健師 1人
	その他 2種類	—	住宅支援※ 公営住宅2戸、民間ｺｰﾎﾟﾚｰｼﾞ 2戸 ※受付終了 募金箱設置 6施設
東白川村	人的 9人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 1人
		輪島市	避難所支援 6人
	その他 2種類	—	住宅支援 1戸 / 募金箱設置 4施設
御嵩町	人的 12人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人 / (申請受付等) 2人
		輪島市	避難所支援 8人
	その他 1種類	—	募金箱設置 1施設
白川村	人的 9人	中能登町	罹災証明支援(家屋調査) 2人
		輪島市	避難所支援 6人
		白山市	教職員(養護) 1人
	物的	氷見市	飲料水 2,500L
	その他 1種類	—	募金箱設置 4施設

石川県における岐阜県の人的支援の状況

支援		主な活動場所	2月	3月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	4月	累計 (人・日)			
①	対策本部・避難所等支援	家庭調査	2月26日～派遣	【第9期】県1人																																	139		
			2月26日～派遣	【第17期】県2人																																			
	被災証明支援	申請受付	2月26日～派遣	【第18期】市町村8人 【第19期】市町村8人 2月27日～派遣																																			644
			2月29日～派遣	【第9期】県3人																																			465
	災害廃棄物処理支援																																					42	
	保健師等 (避難者健康管理)																																					45	
	下水道課被害調査員																																					150	
給水支援職員																																					26		
小計 ①			1,137	22	14	14	25	14	14	25	14	14	22	17	14	22	17	14	16	8	11	10	8	11	10	8	8	13	9	—	—	—	—	—	—	1,511			
②	情報連絡員		2月27日～派遣	【第9次】県2人																																	172		
	被災者支援 給水支援職員	輪島市	2月27日～派遣	【第8期】県-市町村30人 県 5人 輪島市 5人 津幡町 5人 羽咋市 5人 2月27日～派遣																																		2,440	
		2月27日～派遣	【第9期】県-市町村30人 県 5人 津幡町 5人 羽咋市 5人 2月27日～派遣																																				24
小計 ②			1,681	32	32	32	64	32	32	32	32	32	64	32	32	32	32	32	64	32	32	32	32	32	63	31	31	31	31	—	—	—	—	—	—	2,636			
合計 (①+②)			2,818	54	46	46	89	46	46	57	46	46	86	49	46	54	49	46	80	40	43	42	40	43	73	39	39	44	40	—	—	—	—	—	4,147				
③	下水道課被害調査員	羽咋市																																		28			
	被災建築物 応急危険度判定士	新巻町 穴水町 等																																			160		
	被災宅地危険度判定士	宝達志水町																																			18		
	教職員	白山市	【学級指導】市町村1人 2月27日～派遣																																		45		
	災害ボランティア派遣支援	石川県庁	2月29日～派遣	【第4次】県1人																																		57	
	被災家庭公費解体支援	輪島市 穴水町 等	2月26日～派遣	【第2期】市町村12人 輪島市 1人 2月26日～派遣	10人	8人																																291	
	保健師等 (避難者健康管理)	金沢市	2月26日～派遣	【第12期】県-市町村5人 県 2人 美山町 1人 輪島市 1人 2月26日～派遣																																		288	
	看護師	石川県内																																				15	
	DMAT (災害派遣医療チーム)	石川県内																																				690	
	DPAT (災害派遣精神医療チーム)	石川県内																																				40	
	DHEAT (災害時健康危機管理支援チーム)	珠洲市																																			165		
DWAT (災害派遣福祉チーム)	金沢市																																				59		
ドクターヘリ	石川県内																																				12		
小計 ③			1,585	19	22	14	11	11	18	15	14	12	11	9	9	7	8	7	6	5	12	11	11	12	11	11	9	4	4	—	—	—	—	—	—	1,868			
合計 (①+②+③)			4,403	73	68	60	100	57	64	72	60	58	97	58	55	61	57	53	86	45	55	53	51	55	84	50	48	48	44	—	—	—	—	—	—	6,015			

石川県における岐阜県の人的支援の状況

支援		主な活動場所	2月	3月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	4月	累計 (人・日)	
			金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
④	緊急消防援助隊	輪島市 能登町等																																		2,636	
	防災航空隊	珠洲市																																			35
小計 ④			2,671																																	2,671	
合計 (①+②+③+④)			7,074	73	68	60	100	57	64	72	60	58	97	58	55	61	57	53	86	45	55	53	51	55	84	50	48	48	44	—	—	—	—	—	—	8,686	
⑤ 警察	広域緊急援助隊	警備部隊	珠洲市																																50		
		交通部隊	石川県内	16人 2月25日～ 派																																約367	
		刑事部隊	珠洲市																																		84
	広域警察航空隊	石川県内																																		22	
	緊急災害警備隊	珠洲市 輪島市																																		872	
	特別生活安全部隊	石川県内				3人																														170	
	特別自動車警ら部隊	石川県内	2月29日～ 派				7人																													約730	
	特別機動捜査部隊	石川県内																																			116
	特別交通部隊	穴水町																																			0
	防犯カメラ設置チーム	珠洲市 七尾市等																																			28
小計 ⑤			2,092	23	7	10	10	10	10	10	10	10	10	22	18	15	15	15	15	15	27	27	約27	約27	約34	約22	約22	約22	約10	—	—	—	—	—	約2,535		
総合計 (①+②+③+④+⑤)			9,166	96	75	70	110	67	74	82	70	68	107	80	73	76	72	68	101	60	82	80	78	82	118	72	70	70	54	—	—	—	—	—	11,221		
市町村独自による人的支援数(人・日) ※詳細は別紙参照			1,062	9	13	10	10	11	8	10	14	8	8	18	12	12	18	12	6	12	6	6	9	6	6	12	6	6	12	—	—	—	—	—	1,322		
県全体の人的支援数(人・日)			10,228	105	88	80	120	78	82	92	84	76	115	98	85	88	90	80	107	72	88	86	87	88	124	84	76	76	66	—	—	—	—	—	12,543		

3 これまでの活動報告について

活動報告【罹災証明支援（住家第二次調査）】

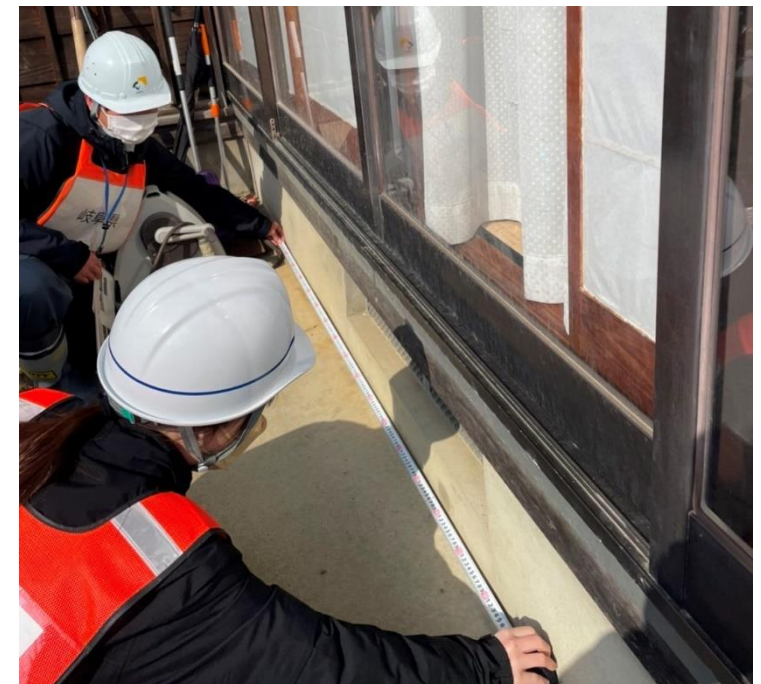
県教育委員会 教育総務課
村田 主事

< 概要 >

- ◆活動期間：令和6年3月4日（月）～3月11日（月）
- ◆活動場所：石川県鹿島郡中能登町
- ◆調査概要：第1次調査を実施した住家の被災者から申請があった場合に実施し、第2次調査は、外観目視調査及び内部立入調査を実施
- ◆調査体制：13人（中能登町職員11人+岐阜県支援職員2人）
- ◆調査件数：2件/日（1件あたり1時間30分～2時間程度）

< 活動内容 >

- ◆罹災証明業務に必要な住家被害の認定を支援する業務
 - ・調査する住家に関する資料の準備（屋根伏図の作成等）
 - ・住家の損傷状況の確認
 - ・現地で記録したデータの入力作業



活動報告【罹災証明支援（住家第二次調査）】

県教育委員会 教育総務課
村田 主事

< 現地の様子 >

◆中能登町職員の様子

- ・ 3月上旬でも長時間の勤務や不規則な勤務形態が続いている

◆建物の被害状況

- ・ 倒壊している家は少ないが、建物内の被害が多い

< 支援の効果 >

- ・ 住家調査員の増員による調査の質の向上及び時間の短縮
- ・ 中能登町職員の事務作業量の軽減

< 課題 >

- ・ 岐阜県支援職員の住家調査に関する知識・経験の不足
→交代職員との業務の引継ぎの充実
- ・ 中能登町職員一人にかかる負担が大きい
→他の自治体の協力を得る必要がある



(参考) 中能登町における住家・非住家被害認定調査 進捗状況(R6.3.24現在)

(単位：件)

	住家		非住家	
	一次調査	二次調査	一次調査	二次調査
対象処理件数	2,156	331	2,362	-
処理済件数	2,098	249	2,100	-
進捗率	97.3%	75.2%	88.9%	-

< 活動内容 >

01 活動期間：3/10(日)～3/15(金)

02 派遣職員：岐阜県応援職員 第10クール 第1班 7名

①県職員 2名 ②市町村職員：5名(下呂市3名 白川村2名)

03 活動時間：8時～16時

04 避難所：輪島市内の小学校(避難者数：139名 世帯数：74名 3/13時点)

< 支援内容 >

- ・避難所運営支援
- ・避難者名簿管理、更新
- ・支援物資の受け取り、整理
- ・炊き出しの配膳
- ・ラジオ体操の実施
- ・避難者との積極的なコミュニケーション

活動報告【岐阜県避難所支援】

下呂市危機管理課
田口 主事



○避難の状況(3/13時点)

避難者数:139名

避難世帯数:74世帯

○避難者の特徴

- ・大半が高齢者
- ・若者は日中不在にする
場合が多い

トイレ掃除



物資の受け取り・整理



炊き出しの配膳



セルフコーナーの補充



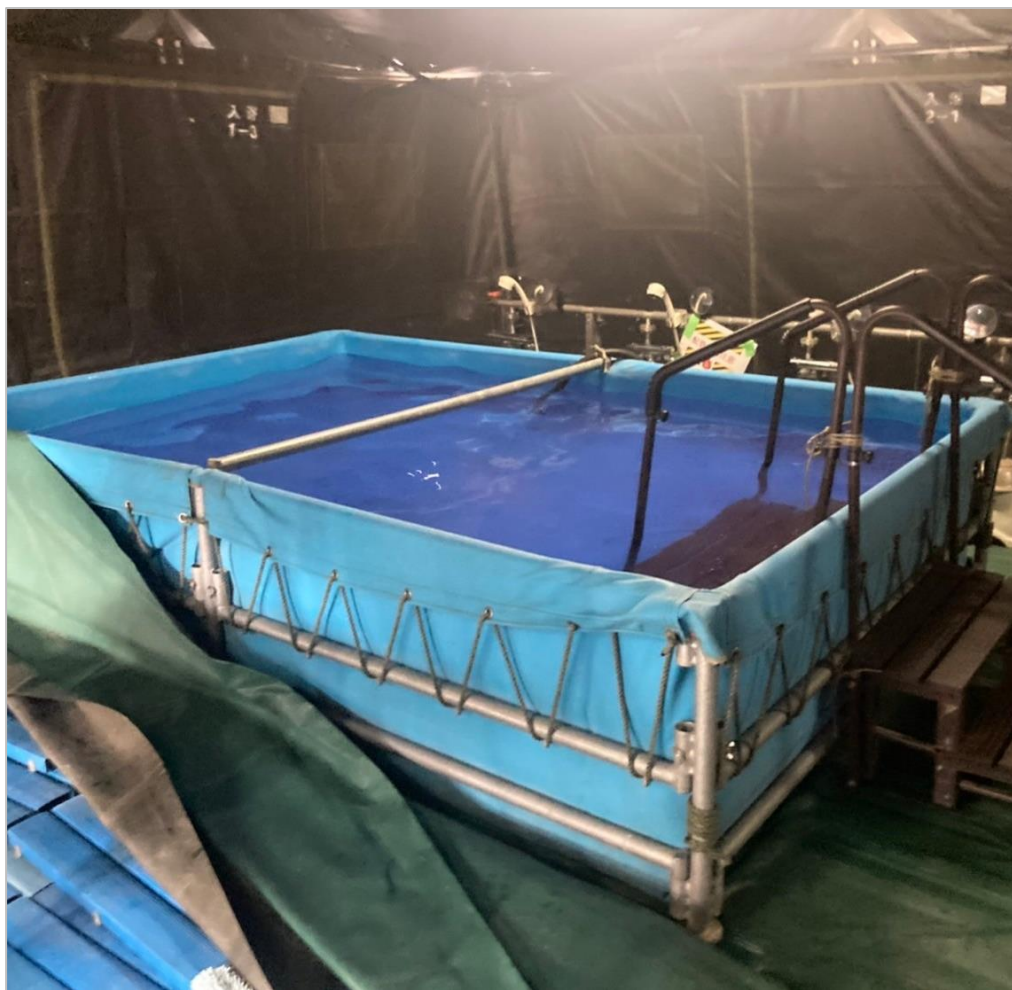
ラジオ体操(1日2回)



避難者とのコミュニケーション



入浴施設の設置(自衛隊)



洗濯代行サービス(週2回)



仮設住宅の建設(3/11～)



オンライン学習の開始



< 課題 >

① 輪島市職員が疲れ切っている

- ・『職員も被災者』心身ともに疲れている
- ・災害対応に追われて平時業務を行えない 今後も応援職員の支援は必要に感じた

② 避難所自治・避難者の自立が進まない

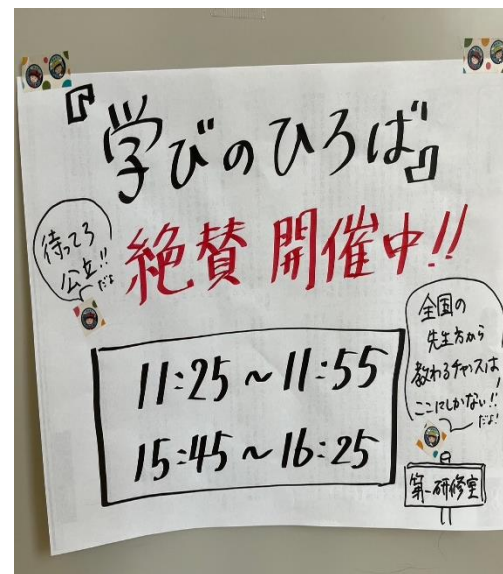
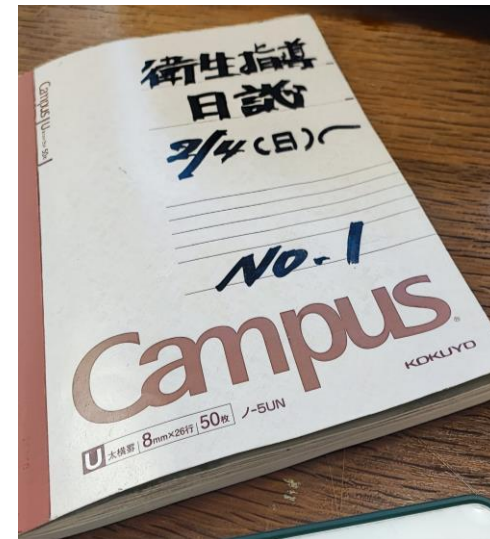
- ・発災から3か月が経過するが、行政主体の避難所運営のまま
- ・トイレ掃除や灯油の給油等、できるところから避難者主体の運営への切り替えの検討

<概要>

- ・石川県教育委員会の要請に基づく文部科学省の教職員派遣
- ・活動期間：令和6年2月27日（火）～3月2日（土）
- ・活動場所：石川県立白山自然の家
- ・支援内容：輪島市から白山市へ集団避難している中学校（主に3年生）への**衛生支援**
- ・支援種別：**衛生（2名）** 学習（10名） 夜間（2名） 養護（1名）

<活動内容>

- ・衛生支援：**清掃、消毒、加湿、シーツ交換、ゴミ回収等**
- ・学習支援：個別支援、学びの広場「自習時間」を運営
- ・生活支援：生活環境と学習環境が同じ施設内にあるため、休憩時間と学習時間の切り替えがつけられるような指導等
- ・被災した生徒の心のケア
- ・現地教員の負担軽減のための業務補助



活動報告 < 課題と対応策① > 生徒が集団避難することの難しさ

< 課題 >

- ・ 学習の場が生活の場と同じ施設内であること
→生活にメリハリがなく、乱れにつながりやすい
- ・ 親しんだ集団(学級等)を解体せざるをえない
→人間関係を考慮することができない
- ・ 個別の空間なし、相談相手となる大人が不足
→多様な生徒の悩みや困り感への対応が困難

< 対応策① >

- ・ **学習と生活の分離(場所・支援)**が必要
学習→教員
生活→専門の支援スタッフ、カウンセラー等
- ・ 生徒個々に**明確な役割(仕事)**が必要
- ・ 教員の積極的な介入が適宜必要(**リーダーが必要**)
- ・ **長期的に支援**する大人が必要(信頼関係の構築)
- ・ **パーティション**による個のスペースの確保



卒業式の練習 卒業合唱の様子

活動報告 < 課題と対応策② > 外部から支援をすることの難しさ

< 課題 >

- ・改善したい生徒の姿に対して、指導をためらわざるをえない状況もある
→被災した生徒の背景（○○がない等）を把握できていない中で関わる難しさ
- ・個別に支援する体制がとれない
→女性教職員の不足、プライベート空間の不足、人間関係をつくる時間の不足
- ・現地教員を「支える」ことの難しさ
→どうして欲しいか尋ねることさえ負担となる現状



物資搬入の様子



物資貸与式 派遣教職員主催



派遣教職員による「よさみつけ」

< 対応策② >

< 支援する派遣教職員に求められること >

- ・様々なことを**配慮して行動**できるか
- ・現地教員、**他の支援員と協働**できるか

< 仕組み作りとして必要なこと >

- ・**女性の派遣教職員**の確保
- ・関係づくりのできる**長期的な支援**
- ・**リーダー**を明確にし、また**その育成**が必要
- ・**フレキシブル**な対応（要望任務≠実際の任務）

<活動内容>

- ・活動期間：3月11日（月）～3月16日（土）
- ・体制：各日12人～15人（全国10道府県から1人1週前後の期間従事）
受付班・審査班・現地班・進捗管理班を編成
- ・業務内容：大垣市は、審査班の担当
 - ・受付書類の審査
 - ・不足書類の催促
 - ・現地班の応援



（画像：審査班の業務の様子）



(職員に説明する様子)



(解体工事着工前立会の様子)



(解体工事完了検査の様子)

<活動において苦労した点>

- ・ 登記簿、戸籍簿を正しく読む技量が必要。
（土地・家屋の登記簿や課税台帳に関しては、業務経験が役立った。）

<課題>

- ・ 中長期的な派遣期間による応援職員の派遣
（または、派遣前の業務説明・引き継ぎ）
- ・ 登記及び戸籍を理解している職員の派遣

（画像：のと里山空港の敷地内に建設中の宿舎）



令和6年能登半島地震

岐阜DWAT 派遣活動報告

派遣期間 令和6年2月20日（火）～25日（日）

活動場所 石川県1.5次避難所
（いしかわ総合スポーツセンター）

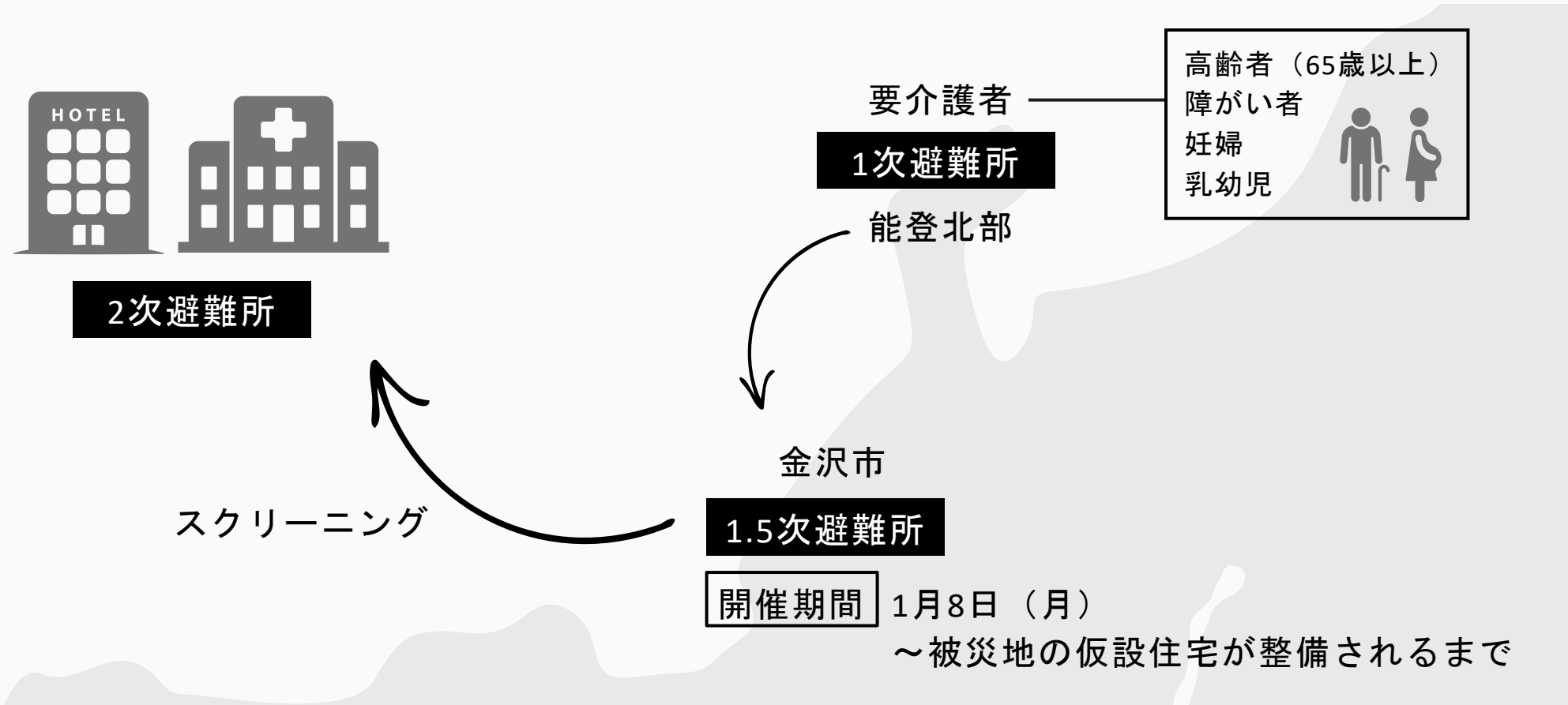


Disaster Welfare Assistance Team

災害派遣福祉チーム

被災により避難した高齢者や障がい者など配慮が必要な方々（要配慮者）が、一般避難所や福祉避難所等で十分な福祉的支援を受けられるよう、地域の福祉人材からなる派遣チームを構成し、避難所等に派遣。福祉的支援活動を行うもの。岐阜県では、チーム派遣に備え、「岐阜県災害派遣福祉チームの派遣等に関する協定」を11団体と締結している。

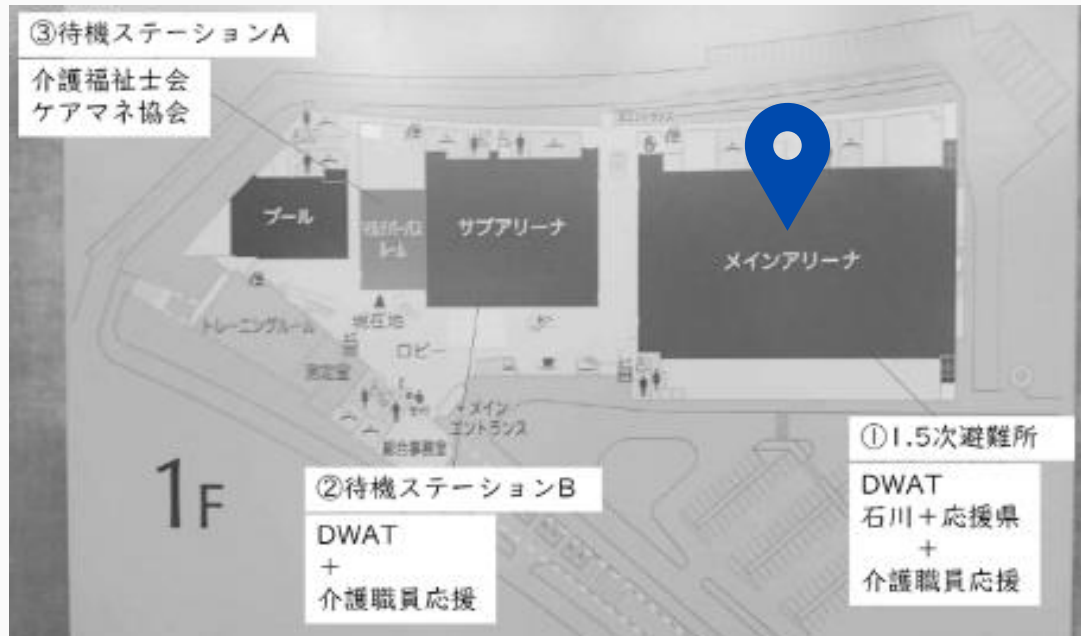
1.5次避難所とは



メインアリーナ

自立度が**高め**な方 約90世帯が入居

DWATとしては石川県、群馬県、大阪府が事務局的活動を行い、島根県、愛媛県、埼玉県、山梨県、岐阜県が入居者支援にあたる



70代の女性避難者から、「一緒に避難してきた甥から蹴られるから怖い。年金も全て管理されている」との話を聞いた。震災前から同様の虐待が続いていたが、震災で他の同居家族と離れたことで、守ってくれる人がいなくなったとのこと。

➤ 避難所内で、多職種のチームと情報を共有。志賀町の地域包括支援センターに連絡し、70代の女性は施設へ避難。残された50代の甥については、生活拠点や自立支援について共に考えることとなった。

日中ほとんどの時間を談話スペースにて折り紙（折り鶴）をして過ごす。耳が遠いため、他者とのかかわりも少なく、気落ちしている様子。

長男は神奈川県にいたが、疎遠状態。能登の仮設住宅を申し込んでいたが、今後の生活の見通しはついておらず、倒壊した自宅の片付けについても本人の意向を確認できていない状態。

- 折り紙作業を一緒に行いながらコミュニケーションを図る。
当初は耳元で大きな声で話しても「わからん」「難しい」と会話に繋がりにくかったが、数日続けることで笑顔を見せてくださったり、チームメンバーの手を握って下さるようになる。その結果会話も成立し始める。

- ▶ 1.5次避難所では、多くの支援機関が支援を行い、三食提供され、飲み物やお菓子も自由に取ることができる。暖房もあるため、無理に2次避難所に移動しなくても、ここにいたいという方が多かった。長期化するにつれて、コミュニティが形成され、1人になることへの心配を訴える避難者もいた。
- ▶ 派遣初日の説明では、「1.5次避難所は二次避難所や仮設住宅などへ繋げる場所。避難者がここを離れるためには支援をする」と説明を受けていた。しかし、ホテルなどに避難された方が体調を崩して戻ってくるケースが増え、本部は積極的に退所を求める介入はしない方針に変わったフェーズであった。
- ▶ 南海トラフ地震などが発生すれば、岐阜県は愛知県・三重県・静岡県からの避難者を受け入れる可能性がある。その際には広域的な支援体制の構築が必要だと感じた。

活動報告【災害ボランティア派遣支援】

産業イノベーション推進課
近藤 主任

<活動内容>

派遣期間：2/22(木)～2/29(木)

業務内容：災害ボランティアの参加者の添乗業務
被災宅等での災害ごみの片付け、運搬作業
災害ボランティア対策本部での事務補助

活動場所：珠洲市、穴水町、石川県庁

応援職員：全国知事会を通じ各県より応援職員が派遣
7名（山形、岐阜、兵庫、岡山、福岡、大分、沖縄）

<受入体制>

当初は、現地での活動時間が短いことが課題とされましたが、
受入体制の見直しにより、改善されつつある

✓ 2/19(月)～

道路状況の改善（移動時間の短縮）及び帰りのバスの時間を
遅らせ、活動時間を延長

✓ 2/26(月)～

穴水町の廃校を活用し宿泊拠点を設置（最大100名受入可）、
1泊2日の活動を開始



石川県HPより参照



宿泊拠点の様子



<今後の課題>

- ✓ 受入体制として、宿泊拠点における断水を解消し、入浴環境を整備するなどの対応とともに、その前段として下記の課題が挙げられる

課題① 家屋等の危険度判定

- ・被災地において広い通りに面した家屋等は2次被害を防ぐため、優先的に判定が行われているが、1歩中に入ると、判定が未着手の案件が多数ある
- ・危険度が不明瞭な家屋等では、ボランティア活動は実施できない

課題② 被災者のボランティアに対するニーズ把握

- ・被災者の方々は、金沢市内の2次避難所や県外に移動している方もいる
- ・被災地にいないケースも多々あり、ボランティア活動へのニーズにおける全貌が未だ不明瞭なところがある

課題③ 道路の復旧

- ・奥能登に進むにつれ、路面の崩壊、亀裂、段差等が多くなる
- ・被災地に入ると、マンホールの浮上や道路の亀裂等がより激しくなり、そのたびに徐行しなければ進めない状況が多々ある



家屋の損壊状況



道路の損壊状況

4 復旧・復興に向けた中部9県1市の 今後の対応方針について

(2) 対応方針

復旧・復興に向けた中部9県1市の今後の対応方針

1. 支援の継続

- ・令和6年能登半島地震は、協定構成県が被災した大規模災害であることに鑑み、中部9県1市の各県市は、各被災市町の復旧・復興状況に応じ、各被災市町が支援を必要とする間は、引き続き、支援を継続する。

2. 情報交換

- ・今後の災害対策に活かすため、被災地支援を通じて得られた気づきや課題等について、各県市が情報交換することにより共有するとともに、その課題の解消に向けた取組を進めるため、今後、9県1市で対応を協議していく。

5 今後の岐阜県の支援方針について

■基本方針

各被災市町の復旧・復興状況に応じ、各被災市町が支援を必要とする間は、引き続き、支援を継続する。

■具体的な支援

(1)短期派遣(総務省「応急対策職員派遣制度」)

中能登町：・公費解体等の受付支援職員4名を4月中旬まで派遣

輪島市：・避難所支援職員30名の派遣を5月末まで継続

・罹災証明書支援(住家被害認定調査2次調査)職員3名を
4月上旬～5月末まで新たに派遣

(2)中長期派遣(総務省「復旧・復興支援 技術職員派遣制度」、災害時等の応援に関する協定等)

令和6年4月以降、県6名、市町村10名の派遣が決定

(令和6年3月25日時点)

派遣元	職種(人数)	業務	派遣期間※	派遣先
県	事務(1名)	なりわい再建支援補助金審査	R6.4～R7.3	石川県
県	農業土木(1名)	災害復旧工事全般	R6.4～R7.3	石川県
県	土木(1名)	災害復旧工事全般	R6.4～R7.3	石川県
県	農業土木(1名)	災害復旧工事全般	R6.4～R7.3	石川県能登町
県	林業(1名)	災害復旧事業の設計	R6.4～R7.3	石川県能登町
県	建築(1名)	災害復旧工事全般	R6.4～R7.3	石川県能登町
岐阜市	土木(1名)	査定設計書の作成	R6.4～R8.3	石川県輪島市
大垣市	土木(1名)	公園の復旧工事	R6.5～R8.3	石川県七尾市
多治見市	事務(1名)	生活再建支援窓口	R6.4～R6.9	石川県中能登町
関市	土木(1名)	道路の復旧工事	R6.4～R7.3	富山県氷見市
瑞浪市	土木(1名)	災害復旧工事全般	R6.4～R8.3	石川県穴水町
羽島市	事務(1名)	生活再建支援窓口	R6.4～R6.9	石川県中能登町
各務原市	土木(1名)	道路の復旧工事	R6.4～R7.3	石川県羽咋市
可児市	土木(1名)	道路の復旧工事	R6.4～R7.3	石川県羽咋市
山県市	事務(1名)	被災者相談・支援	R6.5～R7.3	石川県能登町
山県市	事務(1名)	公費解体の事務支援	R6.4～R8.3	石川県輪島市

※派遣期間は派遣先との協定締結予定期間であり、延長する場合あり 53

6 意見交換

7 本部長（知事） 指示

- 本日で発災から85日目となる。この地震により甚大な被害が発生した石川県に対しては、県内の全ての市町村や関係機関と連携した「オール岐阜」の体制で様々な支援に取り組んでおり、本県からの人的支援は1万2千人・日を超えた。
- 徐々に支援のフェーズが変わってきている状況や、現場での様々な課題を踏まえ、何が必要か、どういった人材を派遣すると良いか等、これまでの支援の経験から見直しを行うとともに、各被災市町の復旧・復興状況に応じ、各被災市町が支援を必要とする間は、継続的な支援を行っていく。
- 中部9県1市と連携し、情報交換に加え、課題や支援の在り方について意見交換を行っていく。
- これまでの支援活動を振り返り、現地で得た知識や経験、的確な支援のあり方などを、本県の貴重な財産として取りまとめ、今後に備えるとともに、各種計画に反映させていく。また、取りまとめた段階で石川県にも共有し意見交換を行う。
- 引き続き「オール岐阜」で被災地を支援するとともに、県の防災体制に万全を期してまいりたいので、市町村・関係団体の皆様もよろしくお願ひしたい。